

安心して避難できる避難所の担い手を育成 ～「京都式避難生活サポーター育成研修」を初開催～

■京都府では、大規模災害時に被災自治体を支援するため、避難所環境の整備や避難者への支援、関係機関との連携など、避難所運営の担い手となる「京都式避難生活サポーター」を育成します。今般、初の研修を9月26日と10月17日に開催しますので、当日の取材をお願いします。

1 開催趣旨

避難所では他自治体や民間企業などの多様な人材が活動することになり、避難所運営をまとめる人材が不可欠であるが、被災自治体の職員だけでは人材が足りないケースもあるため、新たな避難所運営の担い手を育成するもの。

2 日時・会場

	日 時	場 所
南部会場	令和8年9月26日（土） 9:00～17:15（受付：8:30～）	京都府庁3号館地下1階 第3・4・5会議室
北部会場	令和8年10月17日（土） 9:00～17:15（受付：8:30～）	中丹西保健所1階講堂 （福知山市篠尾新町一丁目91）

3 講 師

一般社団法人地域防災支援協会

4 内 容（詳細は別紙カリキュラム参照）

【午前（9:00～12:00）】講義形式による避難所の機能と役割、開設・運営手順の解説

【午後（13:00～17:15）】ワークショップを踏まえた訓練演習

5 受講予定者

自主防災組織、防災士、社会福祉協議会、京都府災害ボランティアセンター、
京都府男女共同参画センター、民間企業、府内市町村職員 等 約100名

6 取材について

- ・取材の際は、直接会場にお越しくください。途中の入退場も可能です。
- ・自社腕章の着用をお願いします。

<参考：京都式あんしん避難所構築事業について>

災害発生時の避難所において、プライバシー空間の確保や温かい食事の提供、継続的な衛生管理をはじめとする良好な避難生活環境を整備するとともに、生活再建に至るまで、被災者に寄り添った支援体制を構築することで、誰もが安心して避難できる環境を目指す。

【取組内容】

- ①誰もが適切な避難所運営を可能とする手引きの作成
- ②避難所運営をマネジメントする京都式避難生活サポーターの育成
- ③市町村や避難生活サポーターと連携した避難所開設・運営訓練の実施
- ④多分野横断で被災者を支援する災害ケースマネジメントの取組推進

【本報道発表に関するお問合せ】

危機管理部災害対策課 課長 山本 TEL 075-414-4476



「京都式避難生活サポーター」育成研修カリキュラム

基本的な考え方

1. 午前は、避難所の基礎的事項、開設・運営に必要な知識、実際に何が起こるかなどについて演習を含め紹介・解説する。
2. 午後は、災害時に実際に避難所を開設するにあたり、避難所の開設・運営の3要素である「避難所ヤ・レ・ル」を解説し、それを基にどのように取り組めばよいかについて、府や府下の基礎自治体の共通マニュアルなども参考に仮想のマニュアル(まほろば小学校)を示し、ワークショップと演習を行う。

日	時 間	時限	講 義 名	主 な 内 容	形 式
午前	9:00~9:10 10分	—	はじめに	① 開催のあいさつ、京都式避難生活サポーターについて ② 講義のスケジュール ③ 参加者及び講師・スタッフの自己紹介	
	9:10~10:00 50分	1	避難所の基礎的事項のおさらい (過去の災害から学ぶ)	避難所の法的な位置づけや、行政と地域住民の役割と責務について解説し、避難所開設・運営のイメージや課題を共有します。	講義、ビデオ
	10:00~10:10	休	休憩		
	10:10~11:10 60分	2	避難所の開設と運営 (個人ワーク)	発災後の避難所の開設と運営について、テーマごとに講義と個人ワークショップをミックスした形で進めます。 ・市区町村災害対策本部(避難所班)との連携 ・緊急点検の進め方 ・緊急点検(被害確認)後のレイアウトの見直し ・避難所運営本部の設置 ・初動対応時の役割分担 ・情報のマネジメント(情報要求、収集、処理、配布) ・マスコミ・SNS対応 ・T(トイレ)K(食事)B(就寝) ・食料等の物資管理と緊急支援物資の輸送体系 ・医療・保険・福祉等に関わる支援チーム	講義と演習
	11:10~11:20	休	休憩		
	11:20~12:00 40分	3	避難所の環境管理と感染症等の 対策及び環境衛生	避難所における環境管理と避難所で発生する感染症(新型コロナウイルスやノロウイルスによる感染症)や、PTSD、食物アレルギーなどについて、過去の事例を紹介するとともに、それを防御するための方策について解説します。	講義と演習
	12:00~13:00	休	昼食		
午後	13:00~14:00 60分	4	避難所の開設・運営の事前準備 (避難所開設ヤ・レ・ルの検討)	発災後の避難所の開設と運営を円滑に実施するために必要となる事前準備について、マニュアルをひもとき、基本的な3要件である「役割分担(ヤ)、避難所レイアウト(レ)、行動ルール(ル)」について学び、仮想のマニュアルにもとづきグループワークで取り組みます。	講義と演習
	14:00~14:10	休	休憩		
	14:10~15:10 60分	5	開門・解錠演習 (アクションカードによる個人ワーク)	仮想のマニュアルに基づく既存のヤ・レ・ルカードを用いて、避難所施設の開門開錠について講師による質問ごとにグループで相談し、カードの空欄を埋める体験をします。	講義、ワークショップ
	15:10~16:00 50分	6	避難所開設ヤ・レ・ルワークショップ (受付業務の検討と体験)	避難所受付で行う業務について考え、グループで受付を担当するという設定で、役割を決めて避難者に見立てたカードを図上で円滑に配置する東京HUGを体験します。	講義、ワークショップ
	16:00~16:20	休	アンケート記入		
	16:20~17:00 40分	7	まとめ:今後に向けて 「京都式避難生活サポーター」として	① アンケートから質問や感想などをピックアップしてやり取り ② 「京都式避難生活サポーター」として期待される役割	
	17:00~17:15 15分	—	おわりに	① 講師の所感 ② 閉会の挨拶	